

生徒心得

<前 文>

- ◎学校生活や学習において、自分の仕事を自覚し、自主的に物事を押し進めていこう。
- ◎自分の発言や行動には、責任を持とう。
- ◎社会に貢献できる人を目標に、最善を尽くそう。

<本 文>

◎私たちは、将来の社会に欠くことのできない正しい言葉遣いと、まじめな生活態度を身につけよう。

- (1) 会議やその他のときは、なるべく分かりやすい言葉で積極的に意見を述べよう。
- (2) 会話の際は、明朗な言葉を用いて話そう。
- (3) 何事にも自主的に行動し、相互の理解を前提に、人と接し互いに学び合おう。

1 服飾・所持品

制服着用時は、学校外で胸をはってそのままの姿で行けるよう身だしなみを整えることを常に心がける。

- 1 前髪は目にかからないようにする。
- 2 後ろ髪は肩にかかる場合は結ぶ。
- 3 染色、脱色、パーマ、極端な段差のある髪型などは禁止する。
- 4 眉は自然なままとし、基本的には手を加えない。
- 5 制服は正しく着用する。
- 6 シャツはズボンの中に入れる。
- 7 スカートはひざがかくれる長さとする。
- 8 首や袖から出るアンダーシャツは着用しない。
- 9 靴下、ベルト、中に着用する服などは目立たない色にする。
- 10 靴は、運動に適したものとする。
- 11 ハイカットの靴は禁止する。

※夏、冬の移行期間は設けず、服装調節は各自で行う。

※寒い時期には、学校指定のウインドブレーカー、カーディガン（目立たない色）、黒のタイツ、マフラー、手袋等の防寒着の着用を認める。ただし、マフラー、手袋等は室内では着用しない。

※新しい校則の試行期間（7月3日～9月29日）までを設定する。生徒、先生、地域の方の考えを基に定めた校則を守ることができない状態が続く場合は、再度校則を見直す。

令和5年6月8日 改訂